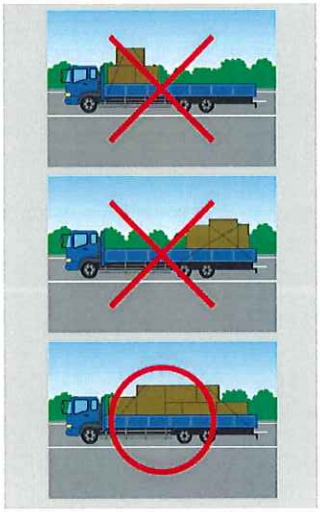
7 積載と運転感覚

大型貨物車は荷物を積むと車両特性が変わります！

●積載による車両特性の変化

・積載時と空車時では自動車の動きが異なります。さらに積荷の位置や、高さ等によっても車の動きが異なります。

・積荷の重心が前方だと前輪に荷重がかかり、ハンドルが重くなり、急ブレーキをかけたときに後輪がロックしやすくなり、尻ふりの原因になります。



・積荷の重心が後方だと前輪の荷重が弱く、ハンドルを回しても思った方向に十分に曲がりきらないなどの現象が起こることがあります。

・積荷の重心がトラックの重心位置付近になるように積載しましょう。

・なお、積荷の重心が高いとカーブでより大きく車体が傾きますので、いつも以上に減速してカーブを通過する必要があります。

●積載の方法

・貨物はトラック全体に平均して荷重がかかるように積むことです。最初に積んだときに平均的に荷重がかかるようになっていても、途中で貨物を下ろしたり、積んだりすることで荷重位置が変わります。常に貨物の重心を気にして積載してください。また、積荷が崩れないように対策することも大切です。

・過積載の場合は、ブレーキの効きが悪くなり、制動距離が大きく伸びます。極めて危険な行為ですので絶対に過積載をしてはいけません。

空車時と積載時の車の動きの違いに注意し、
積載する時は積荷のバランスに注意して下さい。